

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 平成29年度 第1期

「復旧・復興」コース

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学習目標	
10月16日 (月)	1限目 09:30~10:45	復旧・復興総論	座学	災害からの復旧・復興の概念、行政・被災者等の取り組みから生活、産業、社会、市街地の復興プロセスとその全体像を理解する。	中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> 復旧・復興の理念を説明できる。 復旧・復興のプロセスを説明できる。 被災者から見た災害復興と地方自治体の役割を説明できる。
	2限目 11:00~12:15	公共基盤の復旧 (基盤復興Ⅰ)	座学	被災地・被災者の生活再建・復興の基盤となる、道路・公園・都市基盤施設・農業施設など被災した公共基盤の復旧・再建の理念とその対応業務の進め方について、事例を踏まえて学ぶ。	武藤 亨次 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> 生活や地域機能を支える公共基盤（社会インフラ）の復旧・復興の意義と理念を説明できる。 公共基盤（社会インフラ）の災害復旧プロセスの概要を説明できる。 被災施設や社会基盤の復旧・復興事業制度とその概要を説明できる。
	3・4限目 13:15~14:30 14:45~16:00	仮設住宅 (生活復興Ⅰ)	座学	仮設住宅供給の意義と課題、借り上げ応急仮設住宅（見なし仮設）及び仮設住宅の建設についての県と市町村の役割分担、建設用地の選定や確保、入居と管理運営、撤去などの課題を事例に基づき学ぶ。	佐藤 知和 (内閣府) 小路永 守 (熊本県) 東 修 (熊本県) 細貝 和司 (新潟県)	<ul style="list-style-type: none"> みなし仮設住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 応急仮設住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 応急仮設住宅の管理運営の取り組みと課題を説明できる。
	5限目 16:15~17:30	コミュニティ再生 (社会復興)	座学	被災地復興における社会復興の重要性について、被災地における地域コミュニティの役割と意義、地域社会の再生・復旧・活性化の取り組み方、復興基金の意義について、事例に基づき学ぶ。	稲垣 文彦 (中越防災安全推進機構)	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の再生や活性化の意義を説明できる。 地域社会の再生の取り組みのプロセスを説明できる。 地域社会の再生の事例や制度（復興基金の使い方等）を説明できる。
10月17日 (火)	1限目 09:30~10:45	市街地の復興まちづくり (基盤復興Ⅱ)	座学	土地区画整理事業など被災市街地の基盤整備によって安全で快適な市街地復興を実現する復興まちづくりの意義と基礎知識、計画の策定・推進にあたっての課題を、事例に基づき学ぶ。	江田 隆三 (地域計画連合)	<ul style="list-style-type: none"> 過去の災害における被災市街地の復興とその意義と体系を説明できる。 被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題を説明できる。 復興事業の推進にあたって、地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性を説明できる。
	2限目 11:00~12:15	住まいの再建 (生活復興Ⅱ)	座学	被災者の生活復興の基盤となる住まいの再建について、多様な仮住まいの確保、住宅の修理・個別再建・共同再建の支援、被災マンション再建の課題と支援、災害公営住宅の供給など、住宅復興とその課題について、体系的に学ぶ。	塩崎 賢明 (立命館大学)	<ul style="list-style-type: none"> 被災者による住まいの再建の理念と支援の概要を説明できる。 被災住宅・被災マンションの再建プロセスと再建意向調査のあり方を説明できる。 災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。
	3限目 13:15~14:30	地域産業の復興と雇用確保 (産業復興)	座学	地域社会の活力を維持し、被災者の雇用確保を目指す視点から、被災地における産業復興の取り組みおよびその支援方策について、事例に基づいて基礎的な知識を学ぶ。	永松 伸吾 (関西大学)	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の被災事例とその課題を説明できる。 地域産業復興の視点と支援のあり方を説明できる。 被災地における地域産業の復興事例と事業手法を説明できる。
	4限目 14:45~16:00	復旧・復興演習 (復興計画の策定体制)	演習	被災地域における災害復興の基盤となる総合復興計画の策定についての取り組み実例を学ぶとともに、総合復興計画の策定体制、復興施策の推進体制のあり方について、演習形式で学ぶ。	中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> 復興計画の策定体制を考え提案できる。 復興計画の策定過程と構成を提案できる。 復興計画策定における住民参加の意義及び専門家の関わり方を考え、提案できる。
	5限目 16:15~17:30	全体討論・閉講	演習	災害復興について事前に準備し取り組む事前復興の考え方に立って、復旧復興について学んだことを、受講者がどのように取り組むことができるかを討論し、可能性と課題を考える。	中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を通じて学んだ「復旧・復興」の取り組みに関する質疑と確認をする。 事前復興の理念と意義を認識する。